

平成27年度 全国学力・学習状況調査結果報告

我孫子市立高野山小学校

報道でもすでにご存じかと思いますが、4月21日に全国一斉に小学校6年生・中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。これは、自校の子どもたちの学力の把握と学習に対する意識調査の分析を踏まえ、今後の指導に生かすために行われるものです。本校でもホームページを通して結果を公表いたします。

なお、具体的な数値については、学校間の序列化につながってはならないという考えから公表を控えていますのでご了承ください。

国語A問題（主として知識に関する問題）

- ◎県平均・全国平均よりも5%以上上回る結果であった。
- ◎観点別に見ても全ての観点で千葉県平均、全国平均を上回った。しかし、基本的な漢字の読み・書きの問題についてはほぼ平均並みの結果であった。問題によっては平均を下回るものもあった。
- ◎特に正答率の高かった観点は「読む能力」と「話す・聞く能力」であった。

国語B問題（主として活用に関する問題）

- ◎全体で全国平均よりも3%ほど上回る結果であった。
- ◎国語Aと同じく、全ての観点で県・全国の平均を上回った。

▼正答率が低かった問題

- ・目的や意図に応じ取材した内容を整理しながら書く。
（インタビューの内容をまとめる）

<国語のテストに結果に関する考察>

昨年度まで本校では国語科を研究教科として位置づけ、「豊かな読みの力」の育成について長年研究を行ってきた。この結果に関しては今までの研究の成果が表れ、豊かな読みの力が育ってきたと考える。「言語に関する知識・理解」の観点についてはほぼ全国平均と同程度であった。これは、主に基本的な漢字の読み書きの問題である。今年度から実施しているドリルタイムを活用し、ドリル学習の反復練習の充実を図っていきたい。

無解答（白紙回答）の率が全国・県平均よりも高い問題があった。難しい問題であっても何も書かないということがないように、テストの解き方に関する指導も今後必要である。

算数A問題（主として知識に関する問題）

- ◎ 県平均・全国平均よりも若干ではあるが上回った。
- ◎ 観点別に見ても、ほぼすべての観点で県平均・全国平均を上回った。
- ▼ 「数量や図形についての技能」の観点で全国平均を下回った。
- ▼ 「数と計算」の領域で全国平均を下回った。

特に正答率の低かった問題

- $6.79 - 0.8$
- $5/6 \div 7$
- 180° より大きい角の大きさを求める。
→ いずれの問題にしても基本的な計算の問題。

算数B問題（主として活用に関する問題）

- ◎ 県・全国平均より2%ほど上回る結果であった。
- ◎ ほぼすべて観点で平均を上回ったが、問題によって正答率の低いものもあった。
(特に正答率の低かった問題)
 - 計算で答えの求め方の誤りを指摘し、正しい求め方を記述する。
 - 図形の性質を基に示された角の大きさを説明する。

<算数のテストに関する考察>

国語ほどではなかったが、算数でもA・B問題ともに全国平均よりも上回る結果であった。「数と計算」領域の問題の正答率が低かったが、ドリル学習の充実を図り基礎基本の徹底をしていきたい。特にB問題の文章記述による問題の正答率が低かった。日常の授業の中でも算数科における言語活動の充実を図り、表現力の育成を図っていきたい。

理科

- ◎ 全国平均を5%以上上回る結果であった。
- ◎ 全ての観点で県平均、全国平均を上回る結果であった。
- ◎ 無回答率も全国平均よりも少ない。記述問題においても無回答率は平均より少なかった。
- ◎ 文章を記述する問題の正答率も全国平均よりも高い結果であった。

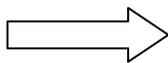
<理科のテストに関する考察>

理科に関する知識は高く表現力もある。本年度から理科を研究教科としているのでさら伸ばしていきたい。授業研究では知識だけでなく、実験・観察などの技能面の能力も伸ばしていきたい。

児童質問紙の結果と考察

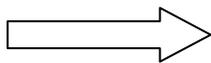
(全国平均と比べて5%以上の差があった項目)

- ◎「普段、1日当たりにどれくらいの時間テレビやビデオを見るか」という質問に対して平均よりテレビを見ている時間が少ない。
- ◎「普段、1日当たりにどれくらいの時間ゲームをするか」という質問に対して平均よりゲームをする時間が少ない。
- ◎「普段、1日当たりどのくらいスマホを使ったりネットをしたりしますか」という質問に対して平均より少ない。



テレビ、ゲームの時間が少ない。近年問題になっているスマホやネットの依存のリスクも少ないと考えられる。

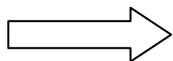
- ◎平日1日当たりの学習時間
- ◎土日1日当たりの学習時間
- ◎習い事で学校の内容より難しい内容を学習している。(進学塾)
上記の項目で全国平均よりも5%以上高い数値であった。



塾に通っている児童が多い。そのため平日、土日の学習時間も平均よりも多い。全ての教科でテストの得点も高い。

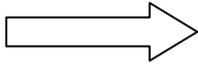
全国平均より5%以上低かったもの

- ▼「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」
- ▼「地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある」
- ▼「住んでいる地域の行事に参加している」
- ▼「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある」



自分の周りの社会や環境について関心がうすい。

- ▼「難しいことでも、失敗をおそれず挑戦している。」
- ▼「自分にはよいところがある」
- ▼「友だちの前で自分の考えや意見を発表することが得意だ」



自己肯定感が低い。消極的

▼その他学校の授業に関する質問では、満足している児童が平均よりも少なかった。

(国語・算数・理科の学習は好きか？ 将来役に立つと思うか？など)

児童質問用紙から

学習塾に通っている児童も多く、学校以外での学習時間も長い。テレビやゲーム、ネットをする時間が全国平均よりも少ないことも相関していると考えられる。学習内容の理解度は高くどの教科もテストの得点は平均を超えている。しかし、身の回りのことに関する関心は低く、「人のため」という意識は低い。自分に自信が持てないというところに原因があるのかもしれない。学力は高いので、授業や日常の活動の中で成功体験を増やし、自分に自信が持てるよう支援していく。